



臨床糖尿病支援ネットワーク MANO a MANO



“mano a mano” とはスペイン語で“手から手へ”という意味です

在宅医療廃棄物の取り扱い

[当法人代表理事]

イムス三芳総合病院

貴田岡 正史 [医師]

在宅医療廃棄物の適正な廃棄に関するパンフレットが完成し、日本糖尿病協会と関連各企業により配布が開始されました。これは私が委員長を務めている日本糖尿病協会糖尿病医薬品・医療機器等適正化委員会が関連各企業協力を得て作成したパンフレットです。環境省と厚労省及び関連団体(日本医師会、日本薬剤師会、日本糖尿病教育看護学会等)のレビューを経て必要な修正を繰り返し完成したものです。今回、青森市で3月1日から2日間にわたって開催された第53回糖尿病学の進歩の展示会場でも各企業により展示と配布が行われました。本パンフレットは糖尿病の患者さんが在宅医療廃棄物を処理する為のガイドラインということになります。この内容を遵守することにより、不要の針刺し事故等が未然に防止できることが期待されます。

https://www.nittokyo.or.jp/uploads/files/waste_leaf_single_page.pdf

表表紙には適正な廃棄に関する一般的な注意事項(各機器共通)6項目をあげてあります。裏表紙にはお使いの医療機器の排出先確認というフローチャートを示してあります。見開きページには「廃棄のポイント」として鋭利でないもの、鋭利であるが安全な仕組みのもの、鋭利なものの3種類に分類され、それに従って安全で衛生的な処理が可能になっています。このパンフレット自体は糖尿病患者さん用に作成されていますが、まず医療スタッフが正しく理解し、適正処理の指導をしっかりと実行していただきたいと願います。パンフレットの入手にあたっては最寄りの関連企業にアクセスしていただければと思います。

話は変わりますが、当法人を取り巻く経済的環境にも大きな変化が起こりつつあります。高齢化社会への急速な移行とそれにともなう必然的な医療費の増大は、社会全体にこれまでに無い大きい影響を与えています。当法人の運営に関しても、この点を会員の皆様にもご理解をいただき、財務面で収支のバランスのとれた事業展開をこれまで以上に意識していただければ幸甚です。

また、このMANO a MANOが来月号(5月号)からデジタルブックとして発行される事になりました。それに伴い、これまで郵送して参りましたハードコピーのMANO a MANOはなくなる事になります。デジタルブックとしての利便性を、是非活用していただければと存じます。

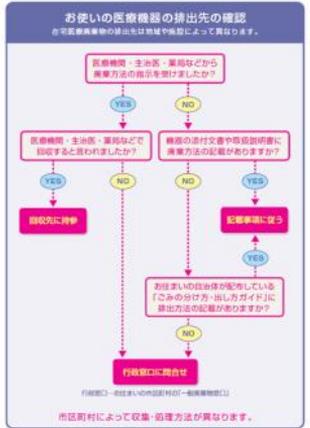
正しく捨ててる？ 在宅医療廃棄物



適正な廃棄に関する一般的な注意事項(各機器共通)

- 廃棄物(使用済みの医療機器)は、廃棄方法によっては感染性のある廃棄物と見なされ、適切に処理されなければなりません。
- 廃棄物(使用済みの医療機器)は、廃棄方法によっては感染性のある廃棄物と見なされ、適切に処理されなければなりません。
- 廃棄物(使用済みの医療機器)は、廃棄方法によっては感染性のある廃棄物と見なされ、適切に処理されなければなりません。
- 廃棄物(使用済みの医療機器)は、廃棄方法によっては感染性のある廃棄物と見なされ、適切に処理されなければなりません。
- 廃棄物(使用済みの医療機器)は、廃棄方法によっては感染性のある廃棄物と見なされ、適切に処理されなければなりません。
- 廃棄物(使用済みの医療機器)は、廃棄方法によっては感染性のある廃棄物と見なされ、適切に処理されなければなりません。

公益社団法人 日本糖尿病学会
糖尿病学会 糖尿病学会 糖尿病学会



西東京糖尿病療養指導士(LCDE)は、更新のために5年間に於いて50単位を取得する必要があります。本法人会員は、会報「MANO a MANO」の本問題及び解答を読解された事を自己研修と見做し、**1年につき2単位**(5年間で10単位)を獲得できます。毎月、自分の知識を見直し、日々の療養指導にお役立てください。
(「問題」は、過去のLCDE認定試験に出題されたものより選出、一部改変しております。)

問題 運動療法について正しいのはどれか、2つ選べ。 (答えは3ページにあります。)

1. 運動によりトリグリセリドが上昇し、HDLコレステロールが低下する
2. レジスタンス運動は、基礎代謝の維持・増加に大きな役割をもつ
3. 肥満者は健常者に比べ、無酸素性作業閾値(AT)が低い
4. 運動のインスリン感受性を改善させる効果は、翌日には低下し3日で消失する
5. VO2 maxの80%程度の運動を指導する



報告

臨床糖尿病支援ネットワーク 第64回例会

日時:平成30年12月1日(土)
場所:国分寺市立いずみホール

[当法人理事] 当番幹事 すみとも内分泌クリニック 住友 秀孝 [医師]

2018年12月1日国分寺市立いずみホールにて第64回一般社団法人臨床糖尿病支援ネットワーク例会が開催されました。第1部では、当方より企画委員会報告(若手医師リクルートのためのDM寺子屋2シーズン目の活動・LCDE薬剤支部会による既往妊娠糖尿病を考える会の取り組み・多職種による在宅糖尿病支援マニュアル作成)について報告しました。後者2つは次年度より重点プロジェクトに変更されま



熊倉先生



藤井先生



足立先生

す。熊倉医院 熊倉淳先生より、「残薬ワーキンググループの現状と展望」についてご報告頂き、多変量解析にて薬剤管理を誰が実施しているか、メンタル疾患の有無に有意差を認め、2019年5月糖尿病学会総会にて報告予定です。多摩センタークリニックみらい 藤井仁美先生より、「西東京療養指導士初級講座の現状と展望」についてご報告頂き、高齢糖尿病患者さんの療養に関わる介護職の重要性・必要性が益々増してゆく事、医療・福祉・介護分野のシームレスな連携構築には、まだまだ時間が必要との事です。2025～2035年問題を踏まえた高齢者糖尿病医療への継続した取り組みの重要性が認識されました。

第2部では、今回のメインテーマ「人生100年時代のフレイル・サルコペニア対策～今こそ考えよう！西東京地区だからできるチームアプローチ～」に沿い、青梅市立総合病院内分泌・糖尿病科 足立淳一郎先生に「フレイルとサルコペニア 押さえておきたいポイント」について基調講演されました。大変わかりやすいスライドを提示して頂き、コメディカル会員の更なる理解が深まったと思われま。カテゴリー発表では、看護師の立場から武蔵村山病院 小柳貴子先生に「病院内電子カルテを使用した口腔ケア評価・高齢入院患者さんを支える高齢者によるボランティア活動について」、理学療法士の立場から立川相互病院 長谷部翼先生に「サルコペニアと廃用性筋萎縮の差異、フレイル・サルコペニア患者さんへのレジスタンス運動の有効性」、管理栄養士の立場から駒沢女子大学健康栄養学科 西村一宏先生に「高齢者の～適糖～な食事療法の重要性、まず総エネルギー摂取量を考慮」、薬剤師の立場から大和調剤センター森貴幸先生に「薬局から見える患者さんのフレイルとその対応」についてご講演頂きました。

その後パネルディスカッションに移り、各職種の勤務現場からみえる現状と、職種を超えた取り組みの必要性、また、医療者のみならず地域住民の皆さんを巻き込んだ「共助」の重要性が認識されました。各演者の先生方・長時間にわたる例会にご参加頂きました会員の皆様に厚く御礼申し上げます。



- 😊 異なる職種の先生方からの知識や現場のお話が聞けて大変参考になりました。
- 😊 小柳先生のお話がとても感動しました。看護の視点を現場でも生かしていきます。
- 😊 患者さんの高齢化が進んでいて認知症の方も増えているように思います。今回のテーマは高齢化に対する対応の仕方の参考になりました。
- 😊 今回の他職種のパネルディスカッションは大変勉強になりました。

😊 メタボリックシンドローム→プレフレイル、フレイルへの過渡期についての診断が興味深かった。患者個々について注意深く観察する事の重要性を知ることができた。

😊 高齢者糖尿病の問題に関心があり、参加させていただきましたが、これからの重要な課題であることがわかり参考になりました。運動、食事に関する効果的な方法について、今後も情報交換が必要と感じました。

😊 バランスを整え、適正エネルギーを摂ること、スローカロリーの糖質を活用する事、乳和食の話などとても勉強になりました。

😊 足立医師の講演はとても分かりやすく良かったです。ありがとうございました。



第56回関東甲信越地方会

平成31年1月26日(土)

パシフィコ横浜

[当法人会員]

加藤内科クリニック

加藤 則子 [管理栄養士]

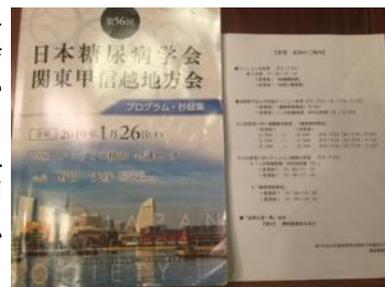
埼玉医科大学 野田光彦先生を会長に234演題が9会場に分かれ発表されました。地方会の特徴は症例報告が多いことだと思います。珍しい糖尿病合併症として抄録集の中から抜粋すると、糖尿病性乳腺症(2型DM患者のインスリン治療で乳腺のしこりが高濃度乳腺となりやすい)やHamman症候群(縦隔気腫を合併した糖尿病ケトアシドーシス)がありました。また意味性認知症(前頭側頭葉変性症の中の1つ)の報告でHDS-R(長谷川式スケール20点以下は認知症疑い)は23点だがインスリン自己管理ができなくなり行動障害がみられたそうです。興味深い会場に行けなかったセッションが米国糖尿病学会や欧州糖尿病学会のように日本でもWebで聴講出来るようになることを希望します。

川井クリニック(茨城県)の「高尿比重2型糖尿病患者への水分摂取状況調査」では脳梗塞等のリスク回避のための指導がすばらしく、発表はMedical Staff Awardを受賞しました。コーヒー・紅茶の摂取は多いが水は少ないと脳梗塞などの発症リスクとなるため改善が必要だそうです。1型糖尿病の講演では50%に甲状腺疾患が存在するとのことです。改めて当院の甲状腺機能異常合併1型糖尿病患者さん複数を思い浮かべましたが、実はもっと多いのかもしれない。

当院からは65才以上2型糖尿病患者のサルコペニア(骨格筋量と骨格筋力の低下)・フレイル(虚弱)の調査報告をしました。199人中6割に四肢骨格筋肉量(SMI)減少が認められ、握力は男性の26%が26kg未満でした。個人差は大きいので、筋力低下の有無を認識し、運動に励むことを適正な食事摂取と平行して指導することが大切だと思います。CGM、FGM関連発表では1症例の報告が多く、多症例での検討は少数でした。

今年は糖尿病学会学術評議員改選が行われました。5月の学術集会総会から新しいメンバーとなります。評議員会では海老名総合病院大森安恵先生から『妊娠糖尿病』セッションに1型糖尿病患者の妊娠演題がある、糖尿病合併妊娠とは区別すべきとの発言がありました。『妊娠と糖尿病』にセッション名が変更されると事務局から説明されましたが、大森先生は地方会開場1番に入られたため変更のコピー紙を受け取っていませんでした。いつも元気に発言なさる素晴らしい先生です。

前回の新潟は初めて日本海側での開催で演題数は例年以上に多かったのですが来場者が5割減だったそうです。開催前の週に大雪があり交通機関が麻痺した事も関係していたのでしょうか。次々回の地方会会長は東邦大学弘世貴久先生に決まりました。



報告

一般社団法人 臨床糖尿病支援ネットワーク
第19回 西東京糖尿病療養指導士認定試験

日時:平成31年2月17日(日)
場所:東京経済大学



平成31年2月17日(日)東京経済大学において、『第19回西東京糖尿病療養指導士認定試験』が行われました。今回は98人が受験し、84人が見事に合格されました。合格者には3月に合格通知を発送しております。西東京糖尿病療養指導士としての門出を祝し、4月2日(火)立川市女性総合センターアイムにて認定式を執り行いますので、合格者の方々には是非ともご出席くださいますようお願い申し上げます。

第19回 西東京糖尿病療養指導士認定式

開催日:2019年4月2日(火)

19:00~21:00

場所:立川市女性総合センターアイム

1階 ホール

(JR立川駅南口徒歩5分)

読んで
単位を
獲得しよう

答え 2, 3 下記の解説をよく読みましょう。

(問題は1ページにあります。)

解説 運動療法は糖尿病治療の大きな柱の一つである。運動によりHDL-Cは上昇することが知られている。またそのインスリン改善効果は2, 3日後から低下し始め、1週間前後で消失するといわれている。指導する際には有酸素運動ではVO2Maxの50%程度(40~60%)を目標とする。

研究会等のセミナー・イベント情報

 主催事業
 共催・後援事業
 その他

 第6回 南多摩糖尿病メディカルスタッフ交流会

 申込不要

テーマ：『糖尿病性腎症重症化予防に向けた取り組み』

開催日：2019年4月15日（月）18：45～20：45

場所：パルテノン多摩 4階 第1会議室（京王線・小田急線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車 徒歩5分）

問合せ：小野薬品工業㈱ 担当：松尾 TEL：042-340-8901

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位＜第2群＞：0.5単位

参加費
無料

 一般社団法人 臨床糖尿病支援ネットワーク 第65回例会

 申込不要

テーマ：『ステージ別！糖尿病腎症重症化予防のエッセンス』

開催日：2019年6月22日（土）15：15～18：50

場所：国分寺市立いずみホール（JR「西国分寺駅」下車 徒歩2分）

参加費：当法人会員 無料 / 一般 1,500円

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：7単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位＜第2群＞：1単位申請中

☆日糖協療養指導医取得のための講習会：申請中

参加費
無料

詳細資料の
同封あり

 西東京CDEの会 第18回例会

 申込必要

テーマ：『糖尿病の在宅支援を考える 多職種で考えよう！2025年とその先の在宅療養支援』

開催日：2019年6月29日（土）15：30～19：00

場所：府中市立中央文化センター ひばりホール（京王線「府中駅」下車 徒歩5分）

参加費：当法人会員 1,500円 / 一般 2,500円

申込：当法人ホームページのイベント情報にある「申込みフォーム」よりお申込みください。（6/19締切）

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：7単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位＜第2群＞：1単位申請中

詳細資料の
同封あり

 2019年度 西東京糖尿病療養指導プログラム(CDEJ1群)

 申込必要

第16回 西東京教育看護研修会

第4回 西東京臨床検査研修会

第16回 西東京病態栄養研修会

第4回 西東京運動療法研修会

第16回 西東京薬剤研修会

フリーコース

開催日：2019年7月28日（日）9：25～16：55（開場9：10）

場所：北里大学・薬学部 白金キャンパス

（JR山手線「恵比寿駅」下車 徒歩20分 または 都営三田線「白金高輪駅」下車 徒歩13分）

参加費：申込時期によって価格が変わります。

早割[3/7～5/26] 6,000円 / 通常[5/27～7/12] 7,000円

申込：当法人ホームページの「重要なお知らせ」または「新着情報」の

「2019年度 西東京糖尿病療養指導プログラムのお申し込みはこちらから」よりお申し込みください。（7/12締切）

問合せ：臨床糖尿病支援ネットワーク事務局 TEL：042-322-7468

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：10単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位＜第2群＞：2単位申請中

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位＜第1群＞：申請中

※日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位は＜第1群＞は、自分の職種である研修会に参加した場合のみ取得できます。

また＜第1群＞と＜第2群＞の単位はどちらか一方のみ認められます。

※フリーコースで取得できる単位は、西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位(10単位)のみとなります。

詳細資料の
同封あり

発行元

一般社団法人 臨床糖尿病支援ネットワーク事務局

〒185-0012

国分寺市本町2-23-5 ラフィネ込山No.3-802

TEL:042(322)7468 FAX:042(322)7478

https://www.cad-net.jp/

Email:w_tokyo_dm_net@crest.ocn.ne.jp

編集後記



14回の講座を受講して受けたLCDEの試験、そしてCDEJの試験も終わりましたね。お疲れ様でした。療養指導士の輪が広がっていく…嬉しいですね。新しい年度の始まりに、色々なことに挑戦しましょう。勉強も趣味も。やってみて得た経験は、必ず、療養指導に役立つはず。MANO a MANOも形態が変わります。より親しみやすく、読んでいただきやすくなると思います。（広報委員 岡崎 扶美恵）